

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	産地整備支援事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	05	5節	賑わいと活気に満ちた流山（産業の振興）	主管課	農業振興課			
施策	5-4	多様な方面からの農業の振興		主管課長	安蒜 康志			

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	農業協同組合、生産組織、認定農業者、認定就農者	意図	園芸産地の生産力を強化・拡大する。
事業内容	千葉県の新「輝け！ちばの園芸」産地整備支援事業実施要領に基づき、園芸品目の生産出荷等の能力向上、省力・低コスト化を目的に要件者に対して支援する。			
事業開始から現在までの状況変化	千葉県の新「輝け！ちばの園芸」産地整備支援事業には、「生産力強化支援型」と「園芸施設リフォーム型」があり、農業協同組合と協議しながら活用するよう努めている。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		利用実績人数		1	1	人	
指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）						補助対象は次のとおり 〔生産力強化支援型〕 ・生産組織等：1/3以内 ・認定農業者等：1/4以内 〔園芸施設リフォーム型〕 ・1/4以内
	事務事業のコスト						
事務事業の総コスト(a=b+c)			6,436,113	6,510,142			
事業費(b)(円)			5,063,113	5,167,742			
うち一般財源			4,265,113	3,225,742			
職員給与費(c)(円)			1,373,000	1,342,400			
人役・職員(人)			0.20	0.20			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	継続（事業を現状どおり継続すべき）					

事務事業の業務改善について

今年度(H29)の改善計画	県の100%補助を受けるため、改善計画はなし。	取組の課題	県の100%補助を受けるため、取組の課題はなし。
今年度(H29)に実施した取組	農業協同組合と協力し、適正な申請等に努めた。	今後(H30以降)の改善計画	特になし。